

そよかぜ通信

第262号

発行

2022年4月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>



ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。

春の飾りつけ①



春の飾りつけ②



花より団子!!

小金井公園



菜の花も
きれい!



活動の一コマ写真館

水曜クラブ

～観梅&観桜ウォーキング編～



活動室の外



梅に桜に
春ですね～



府中総合体育館周辺



★今月のキラリ☆一番星!

今月のキラリ☆一番星は、Hさんです!



運動も学習も頑張ってます!

桜をバックに📷

そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

～ 遠い国を想う ～

石倉健太郎



春の掃除をしていたら、古いパンフレットが出てきました。第94回外語祭、もちろんコロナ前の物です。子どもとも、そよかぜの利用者とも行った所だな…とめくってみると、居ながらにして世界旅行ができたことが懐かしく思い出されます。珍しい料理が食べられた模擬店の案内に、「ロシア」の文字がありました。ここでは子どもにせがまれて、旧ソ連の飛行機のバッジを買ったこともありましたが、私は、19歳の時にロシア(ウラジオストク)に旅行したことがあるのですが、当時はソ連崩壊から間もなく混乱も多い様子でしたが、人々の笑顔や逞しさが印象に残りました。今、遠くで起きている戦争のために、日本のロシア料理店が嫌がらせを受けたとの報道(経営者はウクライナ人の方のようです)に胸が痛みます。コロナ禍、戦争と人々を引き裂く世界は本当に辛いことです。国同士だけでなく、身近な隣人同士でもわかりあうことの難しさを感じさせられますが、日々の暮らしの中で少しでも人が人らしく生きて、楽しんでいけるように、小さなことでも目を留めて考えたり、対話していくことを大切にしていきたいと思います。

保育士実習生が来ていました♪



音楽でピアノを演奏

靴のベルトを留めるのを手伝っています

ウェルネス活動のサポート中



新型コロナウイルス感染症の対策で未だにマスクをつけなければならない日々が続いておりますが、令和3年度も利用者の皆さんは毎日元気にそよかぜに通所してくれました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。令和4年度もよろしくお願いいたします。
大山 啓太郎



パンフレットです



当時のアルバムから



水餃子とサワークリームをロシア風に食べました